



かろるる
#おちゅ#おちゅ!
P22

HAPPY WATER#2008 / For Adults Only!



「うっ…あ…出すぞ…
カレン…うっ!
「あっ♡早くギてえ…うっ♡
せーしっ♡せーしっ♡はっ
ナカに出してえ…うっ♡♡

「…あ…あ…
「あっ♡やっ…んまっ♡
私も…っちやうう…♡

「やん…♡あ…♡
スゴ…溢れ…てるう…♡
もう…出しすぎ…♡
「うっ…ナカに出せと
言ったのはお前だろう…

「あ…は…♡そっただけど…
ルル…うて…やっはり
変態…よねっ
ほん…は…



「…カレン
「お…何、よお…
「おんな事言うなら
もっと色々させるぞっ

「は…あ…今更でしょ…
すっ…好きにすれば
いい…じゃない…
「…わかった

「うてちまうとぉー！こんな…
どうして縛るのよぉー！
「まあ…拘束…とどうか
「陵辱プレイ…だな
「プレイ？…って言うか
…痛…ってば…うー！
「だが…ううううのも
「嫌いな…は…は…は…うう？
お前はマゾだからな…

「だっ…誰がマゾ…あっ…あぁっ♡
「ほらそんな嬌声を出して…
もう反応しているじゃないか
「やっ…あ♡回で…こんな…あっ♡
痛い…の…っ…気持ち…イイ…っ♡

ぎゅっ

ぐり



びん

「それとも……うちのオカが良いか？
「ひゃあ……♡さあ♡さくび……♡
「硬いので……撫らわれて……♡
「あ……♡さ……♡あ……♡あ……♡
「おれは……♡さ……♡め……♡
「そんな声で言われても……
「説得力はないな……♡
「だ……♡……♡……♡
「ちくび……♡……♡……♡」

♡

♡

♡

「は…あつ…あつ…あつ…あつ…
俺にも…して貰おうか」

「あ…海い…も…うん…は…
大きく…なってる…ルル…ンが
私で興奮…して…なってる…」

「ん…うん…あつ…あつ…あつ…
あ…あつ…あつ…あつ…あつ…

「…あつ…あつ…あつ…あつ…
あは…は…は…は…は…は…
私の胸…気持ちいい…うん…

「う…あ…あ…あ…あ…あ…
私も…硬いの…挿入…してる…
イイ…うん…興奮…して…なってる…」



あつあつ

あつあつ

あつあつ

あつあつ

あつあつ

あつあつ

あつあつ



「……って今度はこんな……ルル……シムの変態……」
「形がくっつきりわかるくらいだ」
「どうどうに濡らしているくせに……」
「……これは……紐が食い込んで……」
「痛い、から……うああ……」
「わかったわかった……」
「すぐに犯してやるから」
「えっ……って、そうじゃあ……」
「……も……ばか……あ……」



「そんなに力入れてたら
挿入らないぞ？」
「でも…その…」
「…怖い？」
「…ちよつと、だけ
だーいじょうぶだつてー」
「…ゆっくりするから、な？」

あつ

「あんっーあ…っふああ…っー
「ジノ…もっ…らめえうー
「んっ…もうちよと、だつて…
も、イク…から…っく…
「んっーあ…あああああっー

ビクッ
ビクッ

「はっあ…ごめんなア…ニヤ…
「ゆっくりするって言ったのに
「…いい…ジノ…だもの
「んっ…それは良い意味か
悪い意味なのか…
「どっちなんだろっうなあ…

ニギッ
ニギッ

ニギッ

ニギッ





「え…つと…アーニヤ…
何してるんだ…？」
「…撮影
「まさか…ブログに載せるとか
言わないよな…」
「記録…してるだけ…
凄いいっぱい…出てる…
「ホント…好きだねー…」

アズキ

「んっ♡ぶあ…っ♡
ね…気持ちいい？
「ああ…良いよ…っ♡
「ん…嬉し…っ♡もっ♡と
よくしてあげるね…♡
「…っ♡ジャーリー…っ♡
「ふふ♡えっちな声…っ♡ほい
聞かせて欲しいな…



あはっ♡

あはっ♡

あはっ♡



びり

びり

「...お兄様...あの、
これで良いのですか...?」
「ああ...いいよ、ナナリー」
「ふふ♡お風呂で洗って...なんて
久しぶりですね...♡
でも...ちやうと恥ずかしい...」
「嫌、なのか?」
「いいえ...お兄様となら
私...嬉しいです...♡」

びり

びり



おっぱい

おっぱい

おっぱい

おっぱい

「お兄様…これは？
熱くて硬くて…大きい…
「これを…ナナリーの手で
洗って欲しいんだ
「えっ…どうですか？
「…っ！そう、だ…身体と手で
擦りながら…ゆっくり、な…っ
《あ…これはきつと…お兄様の…

「……はっ……でる……」
「え、お兄様……今何を……きやうー
な……に……？何か……熱いものが顔に……」
「すまない……ナナリーの洗いが
上手かったから……な」
「そうなのですか……？良かった……」
私、ちゃんと……出来たのですね……♡

びびる

びびる

「あの、お兄様……？」
「ナナリー……どうした？」
「また、一緒に……お風呂で
洗いついでてくれますか……？」
「ああ……勿論だよ」
「ふふ♡それでは……これから私が
お兄様を綺麗に洗って差し上げますね……♡」

びびる

びびる

「んっ♡…ふ…あっ♡…あゝ♡…♡
ほら…あ…挿入っくう…♡
「会長…こんな事…っー
「あ♡は…ああ…♡
「凄…奥…っ…届いてるっ…♡
「か…会長…っ
「いいから…あ…っ♡
ルルーシユは黙ってその#6#6…
じっとしてなさい…ん…♡
「しかし…っ…く…
「私も…こんな格好してるんだし…
たっぷり…犯してあげる…っ♡

761

762

763

「あっ♡ああん…う
や…っ♡…コレ、スゴ…おっ♡
気持ち…良いよお…っん♡
「か…いちぢぢ…っー
「そんな…激しく動いたら…う
「何…よお…っ♡まさかもう
射精そうだなんて…っん♡
「言わない…わよね…？
「…っく…あ…
「私が…っあ♡イクまで…
我慢…しなさいよ…おっ♡
男の子、でしょ…っ？
「そんな事言われても…っ
「あっ♡はあん…っ♡
もうちよつと…だから…あ



はっはっ

はっはっ

あ

はっはっ

はっはっ

はっはっ

はっはっ

はっはっ

はっはっ



「あつ……らめええ……♡
 イキぞお……♡イクっ♡
 「俺も、もう……♡
 「良いよ……ナカに射精してっ♡
 膣出して、イカせてえっ……♡
 イクの……イチちゃうっ……ああああっ♡
 「……はあ……♡
 「あ……出てるっ……♡出されちゃってる……
 ルルージュの……せーしい……♡
 「ふふ……こんないっぱい出されたら……
 孕んじゃうかも……ね……♡

あつ

あつ

あつ

あつ

あつ

あつ

「ほら、天子様…これが殿方の性器ですわ」
「薄く…大きいのですわ」
「んっ…♡ちゅ♡ちゅ♡ん♡ん♡
こうやって、唾えたり擦ったりして差し上げると♡♡♡♡♡
「あっ…また大きく♡」

「んっ♡旦那様には…このようにご奉仕して差し上げるのが妻の役目…だそうですよ♡」
「そう…なのですか…?」
「こうすると…とても気持ちが良い…なつて頂けるんですって…ねっ?ゼロ様…♡」

ドキドキドキ

七宝

七宝

「さあ、天子様もどっこい♡
「えっ…私も？
「私と一緒に練習しませんか？
「そう、ですね…
貴女と一緒になら…」

「んく…っ♡…んっ♡
「そう、擦って…先を舐めて…
「んっ…おおひ、ふて…
「ふわえられまふえ…ん…っ
「唾えられなくても、舌や指で
刺激して差し上げれば良いのですよ
「んぶ…♡ふあ…っん…っん…？
「お上手ですわ、天子様…♡



「きやつー…何…?」
「んっ♡は…あ…凄いですわや回様…
こんなにくさ…♡
天子様、これは『せー』♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪
「せー…し?」
「はい♡凄く気持ち良くなるよ
出てくるそうですわ…」

びん

びん

びん

びん

「神楽耶様…何だか私…
胸がどきどきして…
私も胸が高鳴って熱く…
せろ様?もつと練習しても
宜しいですわよね…?」



「っ…また後ろで…っ
ごうちの方が感じて
いるじゃないか
」違っ…お前前の趣味
だろっ…っん♡

「ほら出すぞっ…っ！
くっ…っ♡あ…
また…ナカに…っ♡

「は…あ…っお前は本当に
尻が好きだな…ルルーシユ…
」違っな
「ぶっ…っじゃあお前が
したいことは何なんだ？
私に…っしてみろっ…っ

「ふ…ん…何だ、ルルーシュ…
お前、私にこんな氷着を
着せたかったのか…？
やはりいやらしい男だな…
「黙れ、魔女…お前が挑発
したんだろう？
「構わんさ、別に…お前が
どんな趣向でも…
私を良くしてくれるなら、な

ぐい

ぬちゅ

ぬちゅ

「あ…っ♡挿入って…うあっ♡
お…っいい、ルル…シユ…っ
そんなイキナリ…激しいっ♡
「こっさされるのが良いだろう？
激しく突かれて犯されるのが…っ
「あっ♡あ…っ♡は…あんっ♡
だが…っ…この体位は…あっ
深すぎて…っあ♡ふあっ♡

あ

あ

あ

あ

あ

あ

あ

あ

あ

あ

「違うっ♡うっ♡
「あ…っ♡あ…っ♡
「はっ…♡あ…っ♡もっ♡
もっ♡だ、ルル…シユ…っ♡
激しく…滅茶苦茶に犯せ…っ

「な：何を考えて……」
「そんなにいやらしい水着で生徒を
挑発したのは先生でしょう」
「違うっ！これはムリヤリ」

「でも承諾したのは先生だ……」
「本日はそのいやらしい体を皆に
見せたかったんじゃありませんか？」

「わ：私は……」
「とにかく責任は取って
貰いますよ……先生」

「でもこんな……胸でなんて……ん？」
「ほはっ先生の胸……スベスベして
気持ち良いですよ……」
「くっ……この変態……」

お尻

お尻



「あ……っんーあ……はあ……っ
「どうしたんですか？先生……
いやらしい喘ぎ声を出して
「違う……くすぐりたいだけ……っあ……
「そんな声を出されたら……もう……
くっ……出る……っ
「こっ……待っ……あ……っ……あ……
「う……っ……っ……の感触……
「凄く良いですよ先生……っ
「あ……っん……は……っ……精液が……
「まだまだ出し足りないですから
……もっとたくさん……っん……っん……
味わらせてあげますよ先生
「あ……あ……



「ふふ♡…こおーんなに
出しちゃうなんて…
溜まっていたの？」
「…っは…セシルさん…
…こんな…ダメです…っ
「ココは素直みただけっ
「…っ
「まだ硬いままだし…
もっ…と出せるでしょっ…
…今度はちやんと飲んで
あげるから…ね♡



「ふん…私の脚がどろどろに
なつてしまったじゃないか…
こんな行為が良いのか？」
「良い…です…」
「そうか…ではもっと
良い声で啼いて貰おうか
…」
「うは…あ…先生…」
「そうだ…せうかく遊んで
やつているのだから…
そうでなくては…な





「いつまで見ているつもりだ…？
何だ？覗きか？良い度胸だな…
「え…うわっ、違…っ
「ならさっさと出て行け
…ヤられたいなら別だが…？」



「あんっ♡…すっばい…たくさん…
男の子ってホント、おっぱいが
好きよねえ…やーらしーい♡
」か…いちよ…っ
「はいはい、わかってるって…
…私の胸…もっといっぱい
犯したいんでしょ…っ？
…好きだけど、してあげる…♡

「あ…は♡出ちゃった…
手だけでイッちゃうなんて
勿体なくない？」
「…会長がいやらしいからですよ…」
「ふうん…おっぱい見せるだけで
そんな風になっちゃうなら…
もつとスゴイこと…しちゃおっかなあ…
「…うー？」
「なんてね♡…まだ、だーめ♡
…もうちよつと楽しんでみてください
考えてあげる♡」

あしゅ

あしゅ

:: からぶるぎあちゅぎあちゅ! R2 ::
20080817 *HAPPY WATER/樹崎祐里
連絡先 *http://www3.to/happywater
naochu55@nifty.ne.jp

印刷所 * ねこのしっぽ様

= SPECIAL THANKS =
泉くん(構成・彩色手伝い)

※禁・無断複製&転載。
※19歳未満の購入・購読を禁止します。



■初めましての方もおなじみの方もコメントは、樹崎祐里です。コードギョースR2711カラー本第3弾です。

■R2、本編の展開にせいかせいつつ毎週楽しみに観てお休み。てか毎回終わり方が上手くて、続きが気になって気になって仕方ない！
これ書いてる今は1話が終わった所です…悲しみに暮れる状況に深いつつ、これからもまだ気の抜けない展開が続くんじゃないかと
居てもたっても居られません。や、ホント続きが観たい…！この本が発行してる頃にはまた違う状況になってるのでしょうか。怖いよ…

■今回、表紙は夏仕様な水着でまとめてみました。…冬に売るのはしんどい本になるかも…なんて思いつつ…(笑)。水着を考えるのが結構
楽しかったのですが、でもあんまりなような仕様の水着って実際には無いよね…なんて思ったり。布の面積が狭すぎる。しかしあれだけの人数を
書くのは結構しんどいとお…特に今年の夏は「からまほ!!総集編」でも表紙で多人数描き下したので…でもいろいろ描くのは楽しいっ

■それでは、ここまでお付き合いありがとうございました。次もまたお会い出来ることを願いつつ…(´ω´)ゞ

200807 樹崎祐里。

:: からふるぎ"あちゅ"あちゅ!R2 ::
2008Summer*HAPPY WATER Presents
For Adult Only!

